



元気っ子

№220 ながさわ保育園

平成 27 年 12 月号

園長 市川温予

早いもので今年も残すところ一ヶ月になりました。

朝晩冷え込むようになりましたが、昼間の陽光は暖かく、山は綺麗に色づいています。園庭のアメリカ楓や玄関のとちのき、いちょうの木などは綺麗に紅葉したと思っただらうごい風に吹かれて舞い散り、それぞれ冬の姿になりつつあります。

11 月は、“保育園の周りにいっぱいある自然に触れ、戸外にでかける”という目標をたてたクラスが多かったですが、達成できていたと思います。園庭のくぬぎや西の広場のしいの実、どんぐり、くりなど身近にある自然物を拾い、集めたりする機会が多く、自然物で遊んだり素材にして製作したりと楽しんでいました。自然は子ども達にとって好奇心の対象で、大切な宝物なのです。自然の中で遊ぶ子ども達は生き生きとしています。落ち葉の大きさ比べをしたり、枚数を数えたり、どんぐりの数を数えたり、葉っぱの色を観察したりとこれが生きた学習なのだと思います。園庭で遊んだり、部屋で遊んだりするところを見ていると子ども同士いろんな関わりがあり面白いです。もちろんトラブルもあります。みんなで何かをすることの面白さ、楽しさを学んでいく見習い期間中だと考え、見守ったり、うまく援助していくことが私達大人には大切なことだと改めて思いました。



何度も書かせてもらっていますが、今の乳幼児期に一番大切なことは子ども時代を子どもらしく生きることです。そのためには、子どもが子どもらしく生活する場を提供することが必要です。お散歩や戸外遊びなど、自然に触れること(自然体験)、自然の偉大さ、美しさ、不思議さに触れることは好奇心や表現力、心の豊かさなど大切なものが育ちます。また、いろんな世代の人と関わることで相手の生き方を知ったり、生きる知恵を学ぶことも可能です。自然に恵まれたこの場所で手足を十分に使った遊びをし、毎日自然と関わりながら生きる力が育っていくことを大切にしていきたいと思います。また、一人ひとりの子どもが思いっきり自分のやりたい遊びをたっぴりとできるようにしてあげたいと思います。



これからは来年の1月に予定しています「お遊戯会」に向けての取り組みを楽しく、丁寧に進めていきたいと考えています。

気温の変化が激しいので、体調を崩す子や水疱瘡に罹る子も増えてきましたので、ご家庭でもお子さんの健康観察をしっかりとさせていただきますようお願いいたします。

12月29日(火)から1月3日(日)まで、冬休みとなりますのでよろしくお願いいたします。